

《担当者名》申 相勲（シン サンフン） 都 賢娥（ト ヒョナ）

【概要】

近年、教育・経済・政治・文化技術など、様々な分野で日韓交流が活発に行われている。こうした交流の中で、ことばはお互いの異なる習慣・文化を理解していくための重要な手段となり、最近では、韓国語を学ぶ学習者数の増加も著しい。また、日韓共催のサッカーワールドカップ開催前年の2001年度から大学入試センター試験の正式科目として採択されるなど、韓国語の需要が高くなったと言っても過言ではない。本授業では、韓国の社会・文化に触れながら国際的感覚を涵養し、基礎韓国語力を身につけることを目指す。

【学修目標】

「一般目標」・韓国語を書き表すために文字「ハングル」の仕組みを理解し、正しい読み書きを知る。

- ・基本的な日常会話につながるために、基礎文法をしっかりと理解する。
- ・ことばだけではなく、韓国における社会・文化を理解する。

「行動目標」・基礎文法を利用し、自己紹介に応用する。

- ・ムニダ体とヨ体を学んで、韓国語の丁寧語を熟練する。
- ・日本と韓国の文化を関連づけて比較する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	第1課 文字と発音(1)	ガイダンス 単母音、半母音+単母音	申 相勲 都 賢娥
2	第1課 文字と発音(1)	初音(鼻音・流音)、終声(パッチム)	申 相勲 都 賢娥
3	第2課 文字と発音(2)	二重母音、初声(平音)	申 相勲 都 賢娥
4	第2課 文字と発音(2)	連音化	申 相勲 都 賢娥
5	第3課 文字と発音(3)	初声(激音)	申 相勲 都 賢娥
6	第3課 文字と発音(3)	初声(濃音)	申 相勲 都 賢娥
7	ハングルのまとめ	終声(パッチム)、ハングルまとめ	申 相勲 都 賢娥
8	第4課 「韓国人」です	「は」「ムニダ体；です・ですか」	申 相勲 都 賢娥
9	第5課 「韓国語は専攻ではありません」	「が」「ヨ体；です・ですか」「ではありません」	申 相勲 都 賢娥
10	第6課 「教室は会談の横にあります」	漢数詞、「に(時間・場所)」「あります・ありません」	申 相勲 都 賢娥
11	第7課 「午後、時間だいじょうぶですか」	ヨ体の作り方(1)、「を」「も」	申 相勲 都 賢娥
12	第8課 「小学生にテコンドーを教えてください」	ヨ体の作り方(2)、「で(場所)」「に(人・動物など)」	申 相勲 都 賢娥
13	第9課 「ふつつ、6時に起きます」	ヨ体の作り方(3)、「で(手段)」「～から(場所)～まで」、固有数詞	申 相勲 都 賢娥
14	第10課 「野球がとても好きです」	ヨ体の作り方(4)、「～しに」「～から(時間)～まで」	申 相勲 都 賢娥
15	まとめ	ハングル・韓国語表現のまとめ	申 相勲 都 賢娥

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 70%、小テスト 20%、授業への参加度 10%

【教科書】

李潤玉 他 著 「三訂版・韓国語の世界へ 入門編」 朝日出版社

【備考】

必要に応じて、参考資料を配布する。

【学修の準備】

次回の授業範囲を予習し、語彙の意味等を理解しておくこと。（20分）

授業終了後、指定した教科書の本文を読んで、復習しておく。（20分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP1）生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養、豊かな人間性、高い倫理観と優れたコミュニケーション能力を身につけている。